

## ふれあい広める折り紙の会

### 三反田

三反田自治会では、地域のふれあいを広めるため、令和4年4月から、毎月第2木曜日の午後1時30分から集会所で折り紙の会を発足し、童心に戻り折り紙を楽しんでいます。

普段から折り紙に親しんでいる方から全然していない方まで、様々な人が参加しています。

参加は、自治会員であれば自由です。コロナ禍の中でも26名が参加しております。

現在、折り紙の基本の1つである、くす玉折を勉強しています。くす玉折に慣れてきたら、くす玉折を使った人形や、花などいろいろな作品を作っていく予定です。折り紙は女性がどの認識があるようですが、男性も5名います。

11月末実施予定の自治会文化祭に作品を展示することや、折り紙の会だけでの作品展示を見据えて励んでいます。



## 防犯カメラの導入

### 常葉台

当自治会の防犯カメラの導入のきっかけは、月2回の自主防犯パトロール中、会員の一人が、うちの自治会には防犯になるものが1つも無い、ダミーでも良いから防犯カメラを設置したらという意見でした。そこで色々検討した結果、どうせ設置するならば本物をということになり、住民のプライバシーの保護と個人情報には特に注意し、自治会の出入り口と公園に計9ヶ所設置することにしました。



この契約は7年リースで、維持管理は自治会で行うことになりました。

近隣で空き巣があり、警察から県道側に設置した防犯カメラ映像の提供依頼がありました。当自治会では被害はありませんが、防犯カメラの抑止効果を期待して、少しでも犯罪が減少することを願う次第であります。



## フェンスが新しくなりました

### 幸町

幸町児童公園脇のフェンス工事が、昨年終了し綺麗なフェンスに生まれ変わりました。

以前は、古い住居表示やフェンスのネット部分が朽ち果て、骨組みが残っていた状態でした。当時の子ども会の保護者が設置した防球ネットが、年月とともに傷みが激しくなり、景観を損なっていました。そこで、昨年市に要請し、背の高いフェンスを新設して頂きました。

また、この工事を機会にフェンス際にあった立木も撤去して頂き見通しの良い公園になりました。地域の皆さんの評判も良く、子どもたちも週末や休日には元気に走り回っています。

自治会でも様々な利用を行っております。防災訓練の拠点や三代交流会の会場のほか、地域住民の親子が自転車デビューをする前の練習や、女子中学生のソフトボールのピッチング練習など

様々な目的で活用されています。これからは地域でメンテナンスをしっかりと行い、景観を保ってまいります。



## 花いっぱい運動

### 磯崎

青葉若葉が清々しく、木々の緑も日増しに深くなってきた季節となり、磯崎地区内のおなか山公園も、新たな花々に彩りを変えました。約15名の地域の方々の協力で、花いっぱい運動を実施しました。

まずは古い苗を掘り起こし、さらに除草作業をし、肥料を土に混ぜて土壌をつくりました。そして新たにサルビア、マリーゴールド、ペコニアの花苗を、一面に植え替えました。公園内には、他にも数種類のあじさいや、あやめなどが咲き誇っており、それらの花々となじみ、大変色鮮やかな公園となりました。

これから晩夏まで、赤や黄色、桃色など様々な花が見頃です。地域の方はもちろん、この地を訪れた方々にとっても、ほっとするやすらぎの場となれば幸いです。



## 編集後記

ある本に、「ギブ&テイク」という言葉をもとに、人は3つのタイプに分かれる表記があった。①相手の利益に喜びを見いだす「ギバー」。②自分の利益を優先する「テイカー」。③損得のバランスを取る「マッチャー」。成果を調べると最高と最低の成績はどちらも「ギバー」。高い成績の人は周囲と協力し、低い成績の人は流されて何もかも請け負っていた。「人のために尽くす」のは人間の美徳だが、その行動が実を結ぶためには、周りとの協力し、団結する必要がある様です。

私たちが手を取り合って住みよい街に。

自治会についての詳細情報は、市のホームページにも掲載しています。

[https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shiminkatsudo/m\\_shimin/1003739/index.html](https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shiminkatsudo/m_shimin/1003739/index.html)



再生紙及び植物油インキを使用しています。

# ひたちなか市 自治会連合会だより

第72号

発行日/2022年8月25日  
発行者/ひたちなか市自治会連合会  
広報委員会  
(事務局:ひたちなか市市民活動課)  
TEL 273-0111

## 地域の“絆”深まる 自治会活動の再開

新型コロナウイルス感染症の拡大により、約2年間、自治会行事の延期や中止が相次ぎました。自治会は、災害時はもちろん、子どもや高齢者の見守り、環境美化や防犯活動を行うなど、地域にとって重要な役割を担っています。

今年度、感染状況が少し落ち着いてきた時期には、地域の絆を深めるため、感染対策や工夫した取り組みをしながら、従来の活動を再開している自治会もありますので、紹介します。

### 3年ぶりに「ホタルの里あやめ苑まつり」の開催 -堀口自治会-



「ホタルの里あやめ苑まつり」ふるさと太鼓の様子

堀口自治会では、6月5日に「ホタルの里あやめ苑まつり」を開催しました。太鼓の音、子どもたちの歓声が3年ぶりに地域に響き渡った一日でした。開催に当たっては、体温測定及び手指消毒、県のアマビエ認証のほか、模擬店も調理は会館で、販売は会場で行いましたが、会場内での飲食禁止など、できる範囲での感染対策を講じました。

当日は、梅雨入りの直前で、会場に設営したステージでは、久しぶりに子どもの「ふるさと太鼓」や「お母さん太鼓」などで賑わいました。

### 3年ぶりの「花しょうぶ園まつり」 -弥生西谷津自治会-



「花しょうぶ園まつり」の様子

新型コロナウイルスの影響により、自治会では行事の開催ができない状況が続いていました。自治会の存在意義の中心をなすものは「住民同士の絆づくり」だと思います。その絆づくりで重要なのは行事の開催であり、今年は、よほどのことがない限り予定している行事を全て開催したいと考えています。

そのスタートとなる「花しょうぶ園まつり」が3年ぶりになりますが、開催できて内心ホッとしています。これに続く行事も、無事に開催できることを祈るばかりです。

### 釈迦町ときめき元気塾「楽しい遠足」 -釈迦町自治会-



釈迦町ときめき元気塾「楽しい遠足」の昼食の様子

釈迦町ときめき元気塾は、月2回、釈迦町集会所で元気アップ体操を中心に活動しています。

6月20日には、釈迦町ときめき元気塾のメンバー12名で、馬渡にはわ公園へ遠足をしました。梅雨寒から一転、まるで真夏のように暑い日ではありましたが、皆さんとても元気に菖蒲を見ながら公園を散策しました。

お昼の食事に舌鼓を打ち、皆さんコロナ禍で外出も外食も控えていましたので、とても楽しかったと喜んでいました。最高齢(95歳)の女性は「今日は思い切って参加してよかった!」と満面の笑みでした。

## 新任自治会長研修会 5月26日(木)



武田自治会  
会長 弓田 賢治



西原自治会  
会長 岡田 隆志

新任自治会長研修での事業説明や資料は、役員未経験の私にとって大変参考になりました。また、参加された他の自治会長の皆様も、役員として長年自治会活動に貢献されていることに感銘を受けました。

現在(6月1日時点)、茨城版コロナNextが「ステージ1」の状況にあり、行動制限が緩和されていますが、コロナ禍の不安は根強く、払しょくされるまでにはまだ時間を要するのではないかと考えられます。

コロナ禍など地域を取り巻く環境が変化している中で、積み重ねてきた活動・事業の持続を図るとともに、多世代の参加や男女共同参画などを念頭に置きながら、自治会活動に取り組んでいきたいと考えております。

会長になって2か月。怒涛のような毎日が過ぎました。こんなにも各種の名義変更、通知の申請等、次から次へと事務処理や渉外関係の役割があるものだ、と思う日が続きました。

現役での仕事を離れ8年。気持ちに余裕を持って好きな家庭菜園を楽しみ、晴耕雨読を実践してきた日が一変。現役時の毎日に戻ったような感覚です。ふと、昔は仕事で忙しい日々を送り、休日を楽しみだしたなど思いました。

研修会では各課からの説明等を受け、理解が十分でない事柄もありましたが、新鮮な知見を得ることができました。自分にとっては、行政や社会の仕組みを深く理解する機会にもなりました。



## 新任自治会長紹介

下記の方々が新たに自治会長に就任しました。令和4年度(敬称略)



- 風見 保(大平)
- 土田 良春(富士山)※再任
- 弓田 賢治(武田)
- 鈴木 良雄(足崎)
- 岡田 隆志(西原)
- 佐川 典久(六ッ野)
- 宮崎 眞明(田彦西)
- 樋口 治(大島公園西)

## 令和4年度 ひたちなか市自治会連合会総会

令和4年度自治会連合会の総会が、4月28日(木)ホテルクリスタルパレスで開催されました。

坂井連合会会長の挨拶後、来賓の大谷隆市議会議長から挨拶がありました。

議事では、令和3年度の事業報告と決算報告が原案通り承認され、令和4年度の事業計画と予算についても慎重に審議され承認されました。

議事終了後、大谷明市長から挨拶があり、83自治会の市政協力員へ委嘱状の交付及び8自治会の退任自治会長への感謝状贈呈などが行われ閉会しました。



## 自治連コラム

## 自治会加入率低下の実情と対策

年々、地域に転入してくる住民の自治会加入者数は少なくなっています。アパート等の共同住宅入居者はほとんど加入しない傾向にあります。日常生活で必須となるゴミの集積場所は、自治会管理の場所を使わず共同住宅専用の集積場所を使用し、資源ゴミは市の施設へ持ち込むようです。市報・回覧の配布はされないため、必要な情報は市のホームページ等で閲覧し、災害等の緊急連絡網にも入っていないため、地域住民での助け合いも期待できません。

また、高齢者の退会も少しずつ増えています。役員を全うする体力が不安で、皆に迷惑をかけることを心配しての決断のようです。一方で、若い人の一時的退会者もいます。次期の役員が回ってくるため、これを回避するための退会も一つの理由かもしれません。

自治会の加入率低下は、地域住民の人間関係の希薄化につながります。では、どうしたら加入率を改善できるのか。自治会加入を義務化するというのも考えられますが、最高裁で判例があるため難しいところです。この問題は一朝一夕に解決できるものではありません。皆が住みよい地域社会をつくるために、社会全体で考えていかなければならない課題です。

## 自治会(長)の活動報告

### コロナ禍の活動事例

### ～団地内の公園を利用してキャンプを実施～ さわ野杜自治会

長引くコロナ禍によりお祭りなどのイベントを自粛する状況が続く中、当自治会ではコロナ禍でも何かできないかと役員の有志で協議した結果、野外で密にならずにできるイベントとして、団地内の公園を利用したキャンプを企画しました。

キャンプは、5月14日の午後から15日の朝にかけて、公園でのテント泊、パン・ピザ作り体験、カレーの炊き出し、キャンプファイヤー、花火などのメニューを用意し、参加者は事前に周知したタイムスケジュールに合わせて、自由に来て自由に帰る形で実施し、関係者を含めて約80名の方が参加しました。

メインとなるキャンプファイヤーでは、焚火を囲みながら音楽に合わせて踊る子どもや椅子を持ち寄り談笑する大人もおり、それぞれが思い思いの時間を過ごしなが、マスク越しではありますが、久しぶりにみんなが笑顔で触れ合うことができました。また、参加者からは「ずっと何もできなかったので楽しかった。開催してくれてありがとう」と主催者冥利に尽きる言葉をいただくこともできました。

当自治会では、これからも新しい生活様式を踏まえながら「コロナ禍でもできる地域のつながりづくり」に取り組んでいきたいと考えています。



キャンプファイヤーを楽しむ子どもたち

## 令和3年度 市への要望書の提出

当連合会では市との協働のもと、自治会活動の更なる充実を図り、安全・安心な住みよい地域づくりを推進するため、大谷明市長へ要望書を提出しました。

### 1 既設防犯灯の支柱撤去における補助制度の創設について

防犯灯を架設している支柱については、経年劣化や風雨等に伴う腐食により倒れる恐れがあることから、人や車の安全確保のため、撤去せざるを得ない事例が、各自治会で相次いでおります。市の補助制度がないことや高額な費用がかかることから、自治会においては大きな負担となっているため、既設防犯灯の支柱撤去における補助制度の創設について、要望しました。※令和4年度から補助制度が創設されました。

### 2 集会所建設等資金補助制度の拡充について

地域住民の活動拠点となる集会所は、経年劣化による老朽化が目立ち、雨漏りや漏水など緊急を要する修繕対応が増えております。今後、多くの自治会で建て替え等が想定されることから、自治会が集会所を建て替える際の補助の拡充及び修繕に係る要件の緩和を要望しました。



大谷明市長に要望書を手渡しする自治会連合会役員